

府中市健康地域づくり審議会
第14回熟年元気づくり分科会 報告書

1 分科会の概要

- (1)日 時：平成29年2月9日（木）14時30分から16時まで
(2)場 所：市役所4階第二委員会室
(3)出席者：伊 達 速 人（分科会会長） 宮 口 英 昭（分科会副会長）
重 森 由 枝（分科会委員） 前 原 裕 吉（分科会委員）
藤 本 命 壮（分科会委員） 守 屋 綾 子（分科会委員）
佐 伯 邦 章（分科会委員）
(4)欠席者：寺 岡 暉（職権委員）

2 概要

- (1)開 会
(2)分科会会長あいさつ
(3)議事

①平成28年度熟年元気づくり分科会の活動について

●関係資料の説明

事務局から「平成28年度熟年元気づくり分科会の活動」について、資料により説明を行った。

②生きがい創業ビジネス補助金及びコミュニティ・キッチン開設支援について

●関係資料の説明

事務局から「生きがい創業ビジネス補助金」及び「コミュニティ・キッチン開設支援」について、資料により説明を行い、意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- 既に「コミュニティ・キッチン」に近いことをされている所に声を掛けていけば、検討しやすくなるのではないか。
- 「コミュニティ・キッチン」を検討される人が、先進地へ視察費する場合にも補助金を出してあげてはどうか。
- 過疎地の先進地事例を勉強してみたい。
- 中心になる人や皆が共通している気持ちが大事になると思う。

- 条件を緩和することも必要ではないか。
- スペースを提供する人、生き生きサロン等で活躍されている食育推進委員等でコンビネーションができれば、府中版「コミュニティ・キッチン」ができないか。
- 既に「生きがい創業ビジネス補助金」の交付を受けている団体であっても、「コミュニティ・キッチン」を新に事業に加える場合であれば、再度追加交付してもよい。

③プラチナ大学について

●関係資料の説明

事務局から「プラチナ大学」について、資料により説明を行い、意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- 「プラチナ大学」を受講して創業しようとしても、一人だけでは心細く、人間関係がつかれないとしんどいのではないか。
- 創業につながるには、システムと人の情熱、資金も必要。
- 「プラチナ大学」受講後に、参加者同士でお茶を飲みに行くことが、創業のきっかけになるのかもしれない。

④育児・家事支援への高齢者派遣事業の制度の構築について

●関係資料の説明

事務局から「育児・家事支援への高齢者派遣事業の制度の構築」について、資料により説明を行い、意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- ニーズ側の困ってることを把握するのも大事だし、高齢側で実際にできる範囲の把握も大事だと思う。
- 上下町の小・中学校では、コミュニティ・スクールの関係で全町民を対象にアンケートをとった。子育てやボランティアについても調査項目があったため、そのアンケート結果と突合せをした方がよいのではないか。

⑤平成29年度の分科会開催予定について

●関係資料の説明

事務局から「平成29年度の分科会開催予定」について、資料により説明を行った。

⑥平成28年度施策の実績・成果のまとめ及び平成29年度分科会施策の管理シートについて

●関係資料の説明

事務局から「平成28年度施策の実績・成果のまとめ及び平成29年度分科会施策の管理シート」について、資料により説明を行い、意見を求めた

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

○目標の設定の仕方を検討した方がいいのかもしれない。

(4)閉会

事務局のまとめとして、「生きがい創業ビジネス補助金」、「プラチナ大学」、「コミュニティ・キッチン」の開設支援、「育児・家事支援への高齢者派遣事業」へのご指摘・ご意見等を来年度の運営に生かしていくとともに、平成28年度の取り組み施策等については、審議会への報告事項とする旨を述べた。

宮口副会長から、「今回の議題について、様々な意見があった。委員から提案があった部外での審議についても含めて、皆さんに意見をいただきながら、一緒にやっていければと思っている」と挨拶があり、閉会とした。